

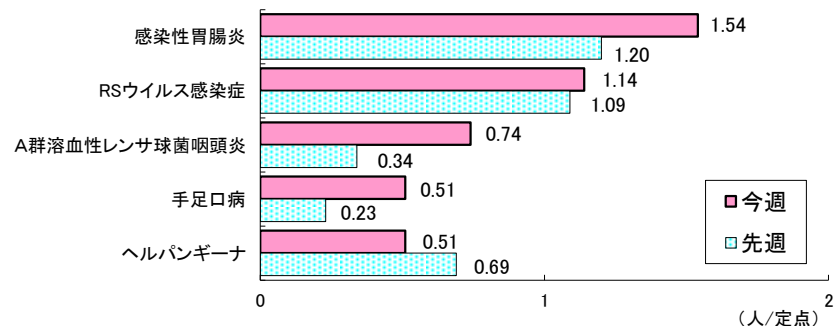


【第40週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で28%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、横手、湯沢で増加、大仙で同規模、秋田市、由利本荘で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で5%増加しています。保健所別では、大館、能代、秋田中央、湯沢で増加、秋田市、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で2.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、大仙で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減			
RSウイルス感染症	1.09	1.14	↗	2.29	2.00	↘	0.50	0.75	↗					1.00	↗	0.75	2.25	↗	0.25		↘	0.50		↘	3.33	1.67	↘	1.00	1.50	↗
インフルエンザ	0.04	0.02	↘				0.14		↘								0.17	↗							0.20		↘			
咽頭結膜熱		0.17	↗		0.43	↗					1.00	↗								0.25	↗									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.74	↗	0.86	1.00	↗		0.25	↗							0.75	3.00	↗		0.25	↗	0.25		↘		0.33	↗	0.50	1.00	↗
感染性胃腸炎	1.20	1.54	↗	2.00	1.57	↘	1.00	2.00	↗	0.50	1.00	↗	2.00	4.67	↗	1.25	1.75	↗	0.75	0.25	↘	1.00	1.00		1.33	1.67	↗	0.25	0.50	↗
水痘	0.14	0.14		0.57	0.29	↘		0.25	↗					0.67	↗												0.25		↘	
手足口病	0.23	0.51	↗		0.14	↗		0.25	0.50	↗				1.00	1.67	↗	0.25		↘	0.75	2.50	↗								
伝染性紅斑	0.03		↘				0.25		↘																					
突発性発しん	0.14	0.17	↗	0.29	0.43	↗	0.50	0.50																			0.25	0.25		
ヘルパンギーナ	0.69	0.51	↘	1.00	1.29	↗	0.75		↘	0.50	1.50	↗		0.33	↗	0.25		↘	1.00		↘	0.25	0.25		1.33	1.33		0.75		↘
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.13	2.13			3.00	↗				5.00	6.00	↗	5.00	3.00	↘	*	*			1.00	↗	3.00	1.00	↘			4.00	3.00	↘	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、大館保健所管内から4人、能代保健所管内から1人、報告されました。
・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から5人、報告されました。
・五類感染症の侵襲性インフルエンザ菌感染症が横手保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から6人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-39週 (全国, 秋田), 40週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

(人)

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-39週 (全国, 秋田), 40週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

トピック

<今夏に県内で流行したエンテロウイルス>

例年、夏季は手足口病やヘルパンギーナに代表されるエンテロウイルスを原因とした夏かぜが流行します。今夏も、秋田県内では第27週(7/2~7/8)以降、ヘルパンギーナの報告数が増加し、一部の地域では警報基準(6人/定点)に達するほどの流行となりました。

表は、秋田県健康環境センターで実施している病原体定点観測調査事業への提供検体から検出されたエンテロウイルスの一覧です。様々な診断名の疾患から複数の型が検出されました。8月上旬まではヘルパンギーナの代表的な病原体であるA群コクサッキーウイルス10型が、8月中旬以降はエコーウイルス18型が流行の中心であった様子が見受けられます。

第40週現在、県内の流行は終息に向かっていますが、例年10月下旬頃までは発生報告が続きますので、今後も手洗い等の感染予防を心がけましょう。

表 秋田県内で検出されたエンテロウイルス

Table with columns: 検体採取日, 保健所管区, 年齢, 診断名, 検出病原体. Lists detected enterovirus cases with details.

※平成30年10月10日現在

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

Table with columns: 発生届出日, 受付保健所, 施設名称, 有症者数, 把握期間. Details of the group outbreak.



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		